

科目名	障 碍 児 保 育 I		担当教員	佐 藤 嘉代子		
			担当形態	単 独		
テキスト	最新保育講座⑮障害児保育 [第2版] (ミネルヴァ書房)	単 位 数 授 業 形 態	1 単 位 演 習	開 講 時 期	後 期	
講義概要						
■到達目標■						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 障害児に関する基礎的な用語を理解し説明することができる。 ・ 保育における障害児、気になる子との関わりについてエピソード記録を作成する。 						
■授業のテーマ及び概要■						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業のテーマ：「障害児保育は保育の原点である」という観点から障害児保育とは何かを考える。 ・ 授業概要：保育の場に「発達障害」という名称で括られる子どもが増えているといわれている。そのような、保育における「扱いが難しい子ども」、「気になる子ども」の対応に必要な基礎的な知識を学ぶ。障害児保育の現場で起こりうる状況についてエピソード事例を通して学び、自分自身の体験を省察し、保育の原点に繋がる視点を探究する。 						
■授業計画■						
第1回 オリエンテーション						
第2回 「1章 障害児保育とは」：障害児保育を議論する前に						
第3回 「1章 障害児保育とは」：子どもとはどういう存在か						
第4回 「1章 障害児保育とは」：障害とは何か						
第5回 「1章 障害児保育とは」：保育者の対応の基本						
第6回 「2章 障害児保育を医療の観点から考える」：発達障害について						
第7回 ワーク：保育現場で出会った気になる子どもたち（Ⅰ）＜自分の保育の視点を探る＞						
第8回 「2章 障害児保育を医療の観点から考える」：障害のある子どもたちの思い						
第9回 「2章 障害児保育を医療の観点から考える」：障害のある子の保護者の思い						
第10回 「2章 障害児保育を医療の観点から考える」：医療からみた保育現場への期待						
第11回 ワーク：保育現場で出会った気になる子どもたち（Ⅱ）＜自分の保育の視点を省察する＞						
第12回 「4章 自閉症の子どもの育ちを支える共感的なかかわり」①						
第13回 「4章 自閉症の子どもの育ちを支える共感的なかかわり」②						
第14回 ワーク：対話を通して考える：自分にとって障害児保育とはなにか						
第15回 まとめ						
■準備学習■						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業で指定された課題に取り組んだ上で、次回の授業に出席することが望ましい。 ＊ 次回の授業で取り扱うと指定された事例を読み、状況を理解しておく。 ＊ 授業終了後は、授業で行った内容を整理し、自分自身の課題に基づき考察する。 ＊ 自身の課題に取り組み調べ学習を継続する。 ・ その他、状況に必要なに応じて課題を提示する。事前準備の上で演習を行うことが望ましい。 						
■評価方法■						
<ul style="list-style-type: none"> ・ 授業時間内の取り組み（発言内容・授業内ワークを含む） — 25% ・ 授業時間外に行う準備学習 — 25% ・ 試験またはレポート — 50% 						
参 考 文 献	自閉症の僕が跳びはねる理由 (エスコアール)	特記 事項	単位を修得出来ない場合、障害児保育Ⅱは履修出来ません。			
卒業・免許状・ 資格との関連	保育士資格必修	幼				
		保	保育の内容・方法に関する科目			